

2009.1.24

# 没後200年－ハイドン特集 第1回

## プログラム

今年はおオーストリアの大作曲家ハイドンの没後200年に当たります。そこで2回に分けてハイドンの名曲をたっぷりお聴きいただきます。ハイドンというと104曲の交響曲に代表されるように「交響曲の父」と呼ばれますが、単に数が多いだけでなく、初期から中期、後期に至るまでまんべんなく優れた作品を残していることがその理由とも言えるでしょう。第101番「時計」は良く知られた名曲ですが、第39番はモーツァルトの2曲のト短調交響曲（第25番と第40番）のモデルにもなった優れた作品です。交響曲と並んで重要なのが83曲（オリジナルは68曲）に及ぶ弦楽四重奏曲ですが、他にも38曲のピアノ三重奏曲、40曲を越すピアノ・ソナタ等、器楽様式を確立したことでも音楽史上重要な作曲家の一人です。今日はそんなハイドンの魅力を感じ取って頂ければと思います。

\*\*\*\*\*

### フランツ・ヨーゼフ・ハイドン (1732～1809) :

#### 交響曲第39番ト短調Hob.39 ～ 第1楽章から第4楽章 (第2楽章のみ抜粋)

シャンドール・ヴェーグ指揮サルツブルク・カメラータ・アカデミカ  
(1986. 8. 19 サルツブルク、フェルゼンライトシユーレでのLive)

#### トランペット協奏曲変ホ長調

ウーヴェ・コミシュケ(トランペット)  
セルジユ・チェリビダツケ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1991.2.10 ミュンヘン、ガスタイクホールでのLive)

#### オラトリオ“天地創造”～

##### 第1部 導入部とガブリエルのアリア / 第3部 集結合唱と重唱

キャスリーン・バトル (ソプラノ) / ベンジャミン・ラクソン (バリトン)  
エーベルハルト・ビュヒナー (テノール) / ベルリン聖ヘドヴィヒ教会合唱団  
小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1982.5.18 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

#### 弦楽四重奏曲第74番ト短調Hob.74“騎士”～ 第1楽章、第2楽章から、第4楽章

東京クアルテット  
(1989. 9. 7 フランドル音楽祭、アントワープでのLive)

#### ピアノ・ソナタ第34番ホ短調Hob.34

シユーラ・チエルカスキー (ピアノ)  
(1994.2.20 サントリーホールでのLive)

#### 交響曲第101番二長調Hob.101“時計”～ 第1楽章から第4楽章(第3楽章のみ抜粋)

コリン・デイヴィス指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1974.8.8 サルツブルク、モーツァルテウムでのLive)